

トラック輸送情報（平成21年4月分）

平成21年7月29日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、久島 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

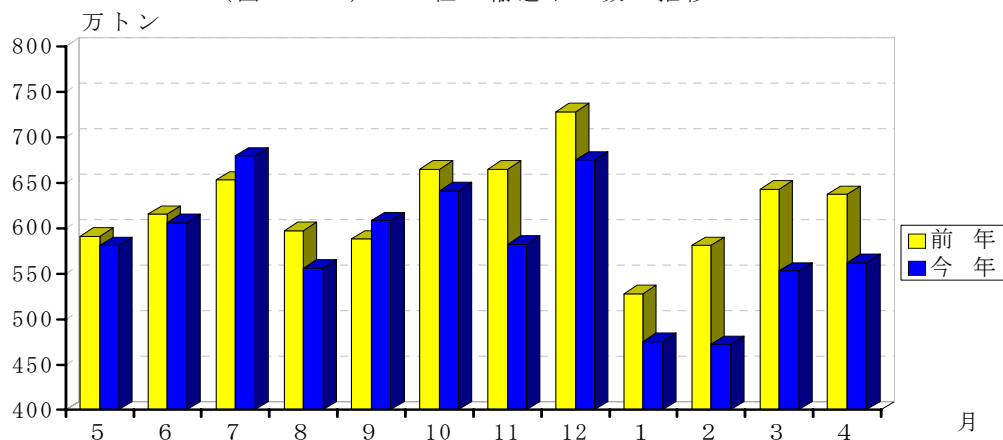
調査対象27社の本月の輸送量は、5,616,000トンで、前月と比べ総輸送量が約9万トン増加したため、前月比101.6%（季節調整済み103.7%）となり、前年同月との比較では、約75万トン減少したため、前年同月比88.2%の実績であった。

なお、平均稼働日数は24.6日で、前月と比べ0.3日増加し、前年同月と比べ0.4日の増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、228,293トンで、前月と比べ約900トン増加したため、前月比100.4%となり、前年同月との比較では、約3万5千トン減少したため、前年同月比86.7%の実績であった。

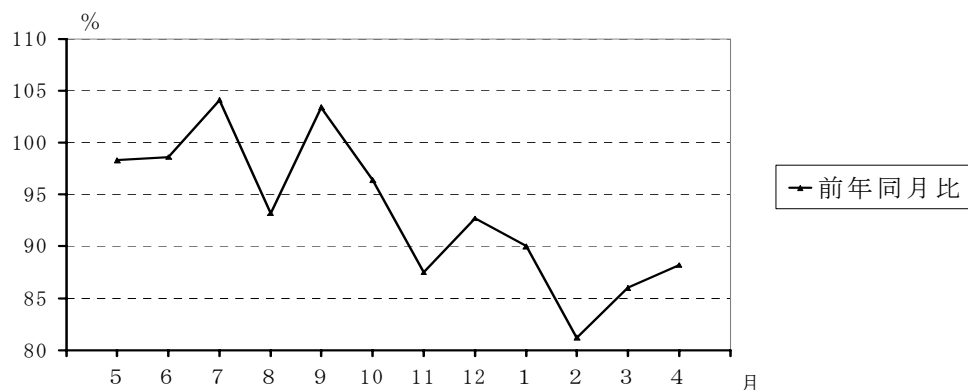
(図1-1、図1-2参照)

注) 平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

(図1-1) 27社の輸送トン数の推移



(図1-2) 27社の輸送トン数の前年同月比

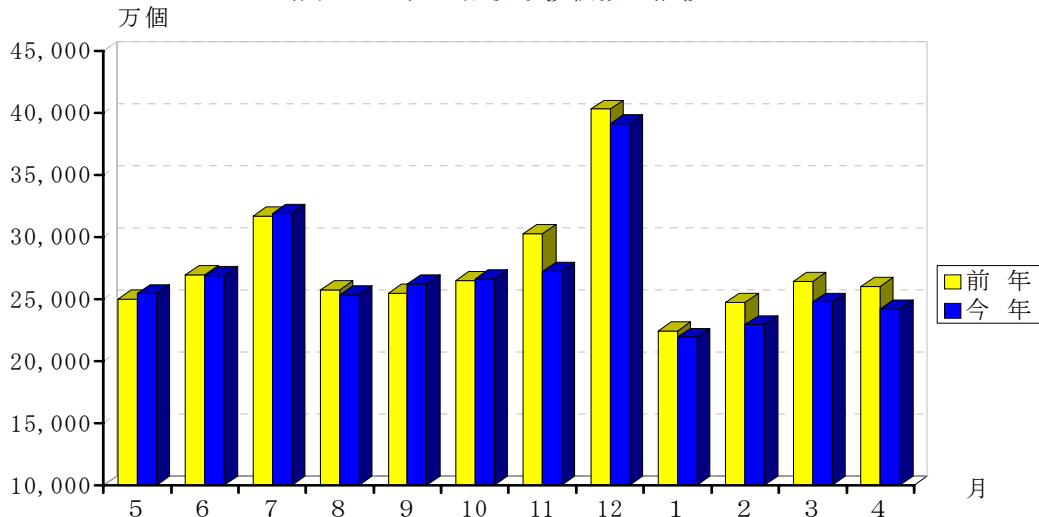


(2) 宅配便の概況

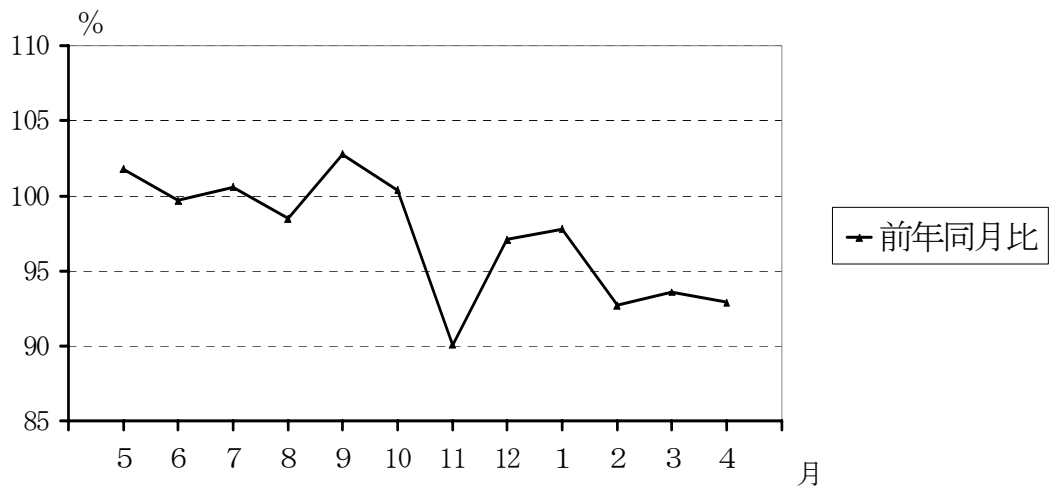
調査対象 20 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、241,802 千個で、前月と比べ 約 577 万個減少したため、前月比 97.7% (季節調整済み 100.7%) となり、前年同月との比較では、約 1,840 万個減少したため、前年同月比 92.9%の実績であった。

(図 2-1、図 2-2 参照)

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、稼働日数の増加等により輸送量が増加した。増加要因としては、「化学工業品」で工場・生産地からの貨物増等があげられるほか、「金属製品」では倉庫から出る貨物増も要因となっている。地域的には、「金属製品」が関東で増加したほか、「化学工業品」では、ほぼ全国的に増加している。

前年同月と比べると、主に不況に伴う工場・生産地からの貨物減等により、「金属製品」、「機械」、「日用品」及び「その他 (宅配便・百貨店配送品)」で輸送量が減少している。地域的には、「農水産品」が東北で減少したほか、「食料工業品」が東北、関東で減少、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」、「日用品」及び「その他 (宅配便・百貨店配送品)」では、ほぼ全国的に減少している。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因	
	著増	増	変らず	減	著減				
前 月 に 比 べ て	農水産品		2	13	2	1			
	金属製品		3	16	1		関東	7	
	機 械		1	16	3		機械部品	関東	4
	化学工業品		8	10	4		合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、北陸信越、中部、大阪、兵庫、中国、福岡	4, 7
	繊維工業品		2	16	3	1	織物		4
	食料工業品		5	12	3		その他の食料工業品	東北、関東	7
	日 用 品		4	11	5	2	書籍・印刷物、その他の日用品	北海道、東北、関東、全国	4, 5
	そ の 他	1	3	11	5	1	宅配便、百貨店配送品	関東、全国	2
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1		13	2	2	野菜	東北	4
	金属製品			9	7	4	その他の金属製品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 9
	機 械			6	7	7	電気機械、その他の機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 9
	化学工業品		2	9	7	4	合成樹脂、その他の化学工業品	神奈川、関東、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国	4, 7
	繊維工業品			12	8	2	織物	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	食料工業品		3	13	2	2	飲料、その他の食料工業品	東北、関東	4, 7
	日 用 品			11	5	6	書籍・印刷物、文具、その他の日用品	北海道、東北、東京、関東、近畿、全国	4, 5, 7, 9
	そ の 他		2	9	6	4	宅配便	神奈川、関東、全国	4, 9

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 790 社／調査対象事業者数 1,094 社）の輸送量は、前月比 97.1%、前年同月比 87.8%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	97.1%	99.3%	93.8%	99.1%	99.8%	96.4%	98.6%	94.5%	98.2%	95.7%	93.1%
前年同月比	87.8%	89.9%	90.6%	88.6%	87.4%	75.4%	89.7%	83.9%	88.5%	93.9%	121.4%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 99.3%、対前年同月比 89.9%であった。品目別には、季節的需要増等により「セメント」、「化学肥料」、「日用品」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「木材」等の輸送量が減少しているほか、建設関連の需要減等により「砂利・砂・石材」等の輸送量が減少、季節的需要減等により「水産品」、「その他の石油製品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 93.8%、対前年同月比 90.6%であった。品目別には、季節的需要増等により「化学肥料」、「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「木材」、「砂利・砂・石材」、「揮発油」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 99.1%、対前年同月比は 88.6%であった。品目別には、景気の上向き等により「金属製品」、「紙・パルプ」、「金属くず」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「動植物性飼・肥料」、「取り合せ品」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 99.8%、対前年同月比は 87.4%であった。品目別には、季節的需要増等により「水産品」、「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「鉄鋼」、「機械」の輸送量が減少しているほか、建設関連の需要減等により「セメント」等の輸送量が減少、季節的需要減等により「揮発油」、「その他の石油製品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 96.4%、対前年同月比は 75.4%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「紙・パルプ」の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「金属製品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 98.6%、対前年同月比は 89.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「食料工業品」、「日用品」の輸送量が増加しているほか、工場・生産地からの貨物増等により「その他の製造工業品」の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「金属製品」、「食料工業品」等の輸送量が減少しているほか、季節的需要減等により「その他の化学工業品」、「紙・パルプ」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 94.5%、対前年同月比は 83.9%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「木材」、「工業用非金属鉱物」、「鉄鋼」、「機械」、「その他の化学工業品」等の輸送量が減少しているほか、工場・生産地からの貨物減等により「金属製品」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少、季節的需要減等により「その他の農産品」、「砂利・砂・石材」、「取り合せ品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 98.2%、対前年同月比は 88.5%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「揮発油」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 95.7%、対前年同月比は 93.9%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「その他の農産品」、「畜産品」、「化学肥料」等の輸送量が増加しているほか、工場・生産地からの貨物増等により「食料工業品」、「動植物性飼・肥料」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「水産品」、「木材」、「砂利・砂・石材」、「機械」、「セメント」、「日用品」、「その他の製造工業品」、「取り合せ品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 93.1%、対前年同月比は 121.4%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増により「鉄鋼」の輸送量が増加したほか、季節的需要増により「化学肥料」の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「金属製品」の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「穀物」、「その他の農産品」、「取り合せ品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸 信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		増		2		1						
1. 穀物	減		1							1	1	3
2. 野菜・果物	増		1		1	1			2	8		13
	減	2	1					1	2	3		9
3. その他の農産品	増	1		1		1		1	1	2		7
	減	1	2					2	1		1	7
4. 畜産品	増		1							2		3
	減											
5. 水産品	増	1			2	1						4
	減	3					1		1	3		8
6. 木材	増	1			1							2
	減	4	3					3		3		13
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増	1										1
	減	1										1
9. 金属鉱物	増											
	減											
10. 砂利・砂・石材	増	4			1			1		3		9
	減	11	3		1			5		4		24
11. 工業用非金属鉱物	増	2	1									3
	減	1	1					2		2		6
12. 鉄鋼	増	1	2		1		1	1			1	7
	減	2	1	1	2		1	3				10
13. 非鉄金属	増											
	減									1		1
14. 金属製品	増			1	1	1				1		4
	減	1	1		2	4	3	5			1	17
15. 機械	増	1	1		1	1	1			1		6
	減	1	1		4	1	1	4		4		16
16. セメント	増	4	1			1				1		7
	減	3	2		4	1		2		5		17
17. その他の窯業品	増						1	1				2
	減		1			1		2				4

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		18. 揮発油	増									
	減		3	1	2				1	1		8
19. その他の石油製品	増								1			1
	減	4			4		1	2		2		13
20. コークス・ その他の石炭製品	増											
	減				1	1		1				3
21. 化学薬品	増				1		1		1			3
	減				1		1	1				3
22. 化学肥料	増	3	2					2		2	1	10
	減	2	1				1			1		5
23. その他の化学工業品	増							2				2
	減			1			2	4		1		8
24. 紙・パルプ	増			1	2	1	1	3		1		9
	減	1	1	1	1		2	1	1	5		13
25. 繊維工業品	増											
	減		1					2				3
26. 食料工業品	増	1	4		2		3	7	1	4		22
	減	1	1		1	1	2	2		3		11
27. 日用品	増	3			1		2	2		3		11
	減	2			1	1	1	2		3		10
28. その他の製造工業品	増						4	2				6
	減	2	2			3		6		4		17
29. 金属くず	増			1								1
	減											
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	2	1					1		2		6
	減	1		1								2
32. 廃棄物	増				1		1	1				3
	減	1	1		1			1		2		6
33. 輸送用容器	増		1							1		2
	減	1						1		2		4
34. 取り合せ品	増	1				1	1	1				4
	減	1	2	1		1		4		5	2	16
35. その他	増		1		1		3	1	1	1		8
	減		5	1	5	3	4	7	1	2		28